



AI活用で先生の仕事方はこう変わる！



AIってなんだか怖いし何者なの？

AIを賢く使えば、事務作業の時間も減り、子どもたちと向き合う時間や教材研究の時間をもっと豊かにできます！



生成AIは、多忙な先生方の頼れる**アシスタント**です！



AIで何ができるの？

1 文書作成のパワフルな時短！



通知文書やお便りなど、文章の叩き台を数分で作成！

2 アイデアが湯水の如く出る！



授業のアイデア、導入クイズ行事の企画等を新視点から！

3 教材作成等を賢くサポート！



個々の生徒の習熟度に合わせたワークシートやテストの作成補助！

AIをうまく使うコツは？

AIは **聞き方=プロンプト** を工夫することで
つまり **役割** **条件** **形式** を的確に指示することで

期待通りの
答えが
返ってくる



プロンプトの書き方例

あなたは【**役割**：小学校の教員】です。以下の条件で遠足のしおりに載せる『持ち物に関する注意点』の文章を作成してください。

条件

- ・小学1年生が理解できるように、ひらがなを多く使い、分かち書きにする。
- ・楽しみにする気持ちを高めるような、優しい言葉を選ぶ。

出力形式

- ・箇条書きで3つにまとめる

このシートを
ダウンロード





AIは便利ですが 安全ですか



AIに何でも相談できて
本当に便利だね！

「何でも」はだめです！
危ない使い方になっていますよ



AIを安全なパートナーにするためには、どんなルールを守ればよいのでしょうか？

「知らなかった！」で困らないように、**3**つの重要なポイントを確認しましょう。

3つのリスク



個人情報漏洩のリスク

入力した生徒の個人情報が、
サービス提供会社を通じて
外部に漏洩・利用される
可能性が…！



著作権侵害リスク

AIが出力した生成物が、
既存の著作物と酷似して
しまい、意図せず権利を
侵害してしまう
可能性が…！



誤情報の拡散リスク

AIがもっともらしい嘘
(ハルシネーション)を
生成し、確認不足で使うと
大きな混乱を招く
可能性が…！



校務利用のルールをチェック！

安全に使うために、以下の
ルールを徹底し、利用前後の
チェックを習慣にしましょう！



校務利用の絶対NGリスト



個人情報・機密情報の入力

生徒の氏名や成績・個別の教育支援計画
・未公表テスト問題など



AIに任せた最終決定

成績評価や所見などの生成物を
しっかりと判断をせずに利用する



著作物の無断アップロード

市販教材やネット上の記事、イラストなどを
無断でコピー、アップロードをして利用する



生成物の「丸写し」利用

生成物の確認を十分にせず、そのまま
自分の言葉として使う



利用前後の安全チェックリスト

利用前



設定を確認しましょう

入力情報がAIの再学習に利用されない
設定（オプトアウト）になっているか、
学校のルール（セキュリティポリシー）と
併せて必ず確認しましょう。



利用後



生成物のダブルチェック

AIの回答は「たたき台」と
いうことを前提に、
①事実確認（ファクトチェック）
②倫理的確認（偏見・バイアスのチェック）
を必ず行いましょう。



参考：文部科学省 生成AIガイドラインver.2.0

まとめ：生成AIはあくまで「アシスタント」、判断し、手綱を握る「主役」は先生です！